



最上地域悲願の4年制大学（農林業専門職大学）が新庄に！

●専門職大学は、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成する新たな大学として、平成31年4月から制度化されたものです。県では、令和元年12月に農林業の専門職大学基本構想を決定しています。

農林業分野の専門職大学を設置！！

【設置の意義】

【教育目標】



山形発の東北・日本を牽引する農林業経営者の育成

農林業の現場に貢献する研究

農林業によるやまがた創生・地方創生

将来を見通した経営ができる人材

消費マーケットを見据えた需要・市場開拓ができる人材



高度で先進的な生産技術を持つ人材

幅広い教養を持ち地域をけん引できる人材

●設置場所

新庄市内の現在の農林大学校敷地内（予定）

※これまでも農林大学校が立地し農林業の担い手を育成してきた実績があること、大学運営に地域一丸となって支援・協力していくという地域の熱い誘致要望があること等が考慮されました。

●専門職大学開学後の入学定員（予定）

学校種	修業年限	入学定員（一学年）	収容定員（全学年）
専門職大学	4年	40名程度	160名程度
農林大学校	2年	40名程度	80名程度
		80名程度	240名程度

●開学までのスケジュール

令和5年4月の開学を目指し、今後、基本計画の検討や文部科学省への認可申請・審査、大学の設置に必要な施設の整備を進めてまいります。

[農業振興課 29-1313]

Q & A

Q：農林大学校や山形大学農学部とは何がちがうの？

A.

農林大学校

実務に直接必要となる知識・技能の教育
⇒実習中心

山形大学
農学部

幅広い教養の教育と学術研究の成果に基づく専門教育
⇒研究中心

専門職大学

理論と実践を架橋する教育
⇒実習を重視しつつ、理論にも裏付けられた実践力を身につける

Q：農林大学校はなくなるの？

A：専門職大学の附属校と位置付けるなど、連携を図りながら引き続き存置します。

完成間近！最上小国川流水型ダム試験湛水を実施！



最上町に建設中の「最上小国川流水型ダム」では、12月27日から堤体の安全性を確認する試験湛水を開始し、1月14日に貯水量が満水となるサーチャージ水位まで到達しました。綺麗な水が越流する姿を一目見ようと、1月6日～19日の一般見学の期間中に延べ1,173人の方が県内外から見学にいられました。

引き続き、流域住民の方々の安全・安心の実現のため、来年度からの運用に向けて関連工事を着実に進めてまいります。

[最上小国川流水型ダム建設室 29-1443]

未来に伝えたい、最上小国川の魅力

最優秀賞 「小国川夕景」 樋渡博さん(新庄市)

1月23日、最上町中央公民館にて最上小国川清流未来振興機構が主催する最上小国川写真コンテスト表彰式が開催されました。今回で4回目を数えるコンテストは県内外の34名から計98作品の応募があり、12作品が入賞しました。最優秀賞に輝いた「小国川夕景」は「夕景を適正な露出、シャッター速度で捉えていて、静寂さと美しい秋の光景を映しこんだ素晴らしい作品」と講評がありました。引き続き、最上小国川を未来に伝える機運醸成に取り組んでまいります。



入賞者記念撮影



優秀賞

「清流で楽しむ」
菅清一さん(最上町)



優秀賞

「西日を受けて」
片見信廣さん(新庄市)



優秀賞

「blue river」
高橋智宏さん(新庄市)



優秀賞

「水遊び」
高橋秀一さん(新庄市)

[連携支援室 29-1240]

全入賞作品はコチラ ⇒



目指せ！医療介護の仕事

1月9日に鮭川村立鮭川中学校(2年生21人)、1月16日に新庄市立新庄小学校(6年生68人)、1月22日に新庄市立本合海小学校(5・6年生16人)で、医療・介護職に関する学習会を開催しました。各学校で医療・介護従事者の方々から具体的な仕事内容・やりがい等の講話をしていただいた後、仕事内容の体験も行いました。生徒の皆さんからは「医療関係の仕事は名前しか知らなかったので、今回の学習会でよく分かった」「仕事内容ややりがいを聞き、将来の仕事の一つとして医療・介護関係に興味を持った」といった感想があり、医療・介護職に興味を持ってもらえたようでした。

県では、今後も学習会等を通して医療・介護従事者を目指すきっかけをつくり、医療・介護従事者確保に取り組んでまいります。

[保健企画課 29-1257]



鮭川中学校



新庄小学校



本合海小学校

食品表示の制度が変わります

加工食品の食品表示が令和2年4月から新しい制度に完全移行することから、1月8日・15日の両日、最上総合支庁で食品表示セミナーを開催しました。

直売・加工活動を行う農業者延べ175名が、食品表示のルールや栄養成分値の算出方法を実践的に研修し、最上の魅力を発信する農産加工品を積極的に売り込むために、その準備を進めました。



写真から伝わる幸せと絆

12月26日から1月7日まで、ゆめりあ「花と緑の交流広場」において、「ジャパンウェディングフォトギャラリー in Yamagata」が山形ウエディング協議会主催で開催され、「ジャパン・ウエディングフォト・グランプリ」出品作品の中から選りすぐりの36作品が展示されました。また、最上総合支庁で実施した「エプロン男子フォトコンテスト in 最上」の受賞作品もこれに併せて展示しました。

展示期間は年末年始にあたり、帰省客や旅行者の方々にもご覧いただき、新郎新婦の幸せそうな笑顔や



感動の涙、家族の絆が伝わる写真に多くの方が見入っていました。

[子ども家庭支援課 29-1245]



1月28日、わくわく新庄にて「もがみ創生『北のゲートウェイプロジェクト』検討会第1回施設整備等に関する分科会」が開催されました。最上地域8市町村の副市町村長や企画担当課長等が出席し、運営形態や施設イメージについて意見を交わしました。

今回は観光面をさらに掘り下げ議論を行う予定です。今後もさらに具体化の検討へ進んでまいります。

[建設総務課 29-1391]

雪害から身を守るために ~除雪・雪下ろし作業での事故にご注意を~

例年、雪害事故は1月下旬から2月上旬にかけて多く発生し、自宅などの雪下ろし作業中の事故で、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。

県でも、1月28日に最上総合支庁において雪害事故防止研修会を開催し、雪害事故防止に向けた注意喚起を行いました。今年の冬は雪の少ない状況が続いていますが、過去の例では、少雪の年にも雪害事故は発生しています。作業を行う際は、次の点を常に心がけ、安全な作業で事故を防ぎましょう。



雪害防止研修会の様子



雪下ろし作業時のポイント

- ①気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ②ヘルメットを着用し安全な服装で作業しましょう！
- ③転落防止のため命綱を使いましょう！
- ④はしごはしっかり固定しましょう！
(足元も先端も。角度は75度に)
- ⑤使いやすい除雪道具を使いましょう！
- ⑥2人以上で作業をしましょう！(携帯電話も持ちましょう)
- ⑦無理な作業はやめましょう！
(準備運動を忘れずに。休憩を取りながら)
- ⑧足場はいつも注意！(軒先は危険です。足場は慎重に)



除雪機による作業時の注意点

- ①人がいる時は使わない！
(作業中は、絶対にまわりに人を近づけない)
- ②エンジンを掛けたまま離れない！
(作業の時以外は、必ずエンジンを止める)
- ③雪かき棒を使って！
(雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う)
- ④後方注意！(後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける)



[防災安全室 29-1209]



「省エネ『川柳・標語』『ポスター』コンテスト」
優秀作品巡回展

「夏の省エネ県民運動」の一環として実施された省エネ『川柳・標語』『ポスター』コンテストの優秀作品を展示する巡回展が開催されます。ぜひご覧ください。

- 期間 2月17日(月)～28日(金)
- 場所 最上総合支庁1階ロビー

[環境課 29-1285]

- 日時 2月12日(水) 13:30～16:30
- 場所 新庄市民プラザ大ホール
- 内容 最上管内各高等学校における、地域と協働したふるさと学習や探究学習の成果の発表を行い、高校生と地域の大人の対話の場を設け、相互理解を図ります。

- 申し込み QRコードより⇒



[連携支援室 29-1238]

2月・3月のイベント情報

● 肘折温泉ドカ雪・大雪割キャンペーン

期間：12月14日(土)～3月8日(日)

内容：豪雪で有名な肘折温泉に行こう！気象庁の肘折アメダス計測で、前日15時までの24時間降雪量が30cm以上で翌日の宿泊料や入浴料等が割引になります！

● 第49回新庄雪まつり

日時：2月8日(土)、9日(日) 場所：最上中央公民館

内容：新庄の冬の一大イベント！たくさんのプログラムでにぎわいます！

● 第24回おおくら雪ものがたり

日時：3月21日(土) 場所：大蔵村肘折いでゆ館前広場

内容：冬の花火大会や幻想雪回廊、巨大雪だるまなど、盛りだくさんです！

※雪の状況により内容が変更となる場合があります。

[観光振興室 29-1312]



愛玩鳥を飼われている方へ！



愛玩鳥のうち、鶏、あひる (アイガモ、フランス鴨を含む)、うずら、きじ、ほろほろ鳥、だちょう、七面鳥を1羽でも飼育されている方は、お名前、住所、電話番号、鳥の種類、羽数などについて、知事への定期報告が必要です。

最近飼い始めた方や、今まで報告したことのない方は、ご連絡ください。

連絡先：最上総合支庁家畜保健衛生課

TEL：0233-29-1357



みんなで予防インフルエンザ

◆ 手洗いをこまめに行いましょう！

・帰宅時など外から屋内に入ったとき ・食事前 ・不特定多数の人が触れるものに触れたあと など

※こまめな手洗いやアルコールの手指消毒は新型コロナウイルスの予防にも効果的です！

◆ 適度な湿度 (50～60%) を保ちましょう！

・乾燥はウイルスの動きを活発にするほか、喉の防御機能が低下しウイルスが侵入しやすくなります。

かかったかなと思ったら…

● 速やかに医療機関を受診し、医師の指示に従って休みましょう。

● 咳エチケットを実践しましょう。



厚生労働省公式ポスター

[地域保健福祉課 29-1268]

発行日：令和2年2月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HD

節分でまく豆は地域によって違うんだけれど、全国的には炒った大豆だけど、東北・北海道は落花生が多いそうだよ☆

